

NO 6	大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト 省CO2推進事業		大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト 事業コンソーシアム		
	大阪駅北地区先行開発区域プロジェクトは、西日本最大の交通拠点である大阪駅の北エリアに、知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)をはじめとする高次都市機能を集積させ、魅力ある都市環境を創造し、関西経済再生の一翼を担うプロジェクトである。大規模開発区域に建設される4棟の建物に、実効性の高い省CO2技術や街区全体での省CO2マネジメントシステム導入するものである。				
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅)・住宅	
	建物名称	大阪駅北地区先行開発区域プロジェクト		所在地	大阪市北区
	用途	事務所/物販/飲食/集会所/ホテル/集合住宅	延床面積	570,000 m <sup>2</sup> (住宅 約600戸)	
	設計者	(株)日建設計/(株)三菱地所設計/ (株)NTTファシリティーズ		施工者	(未定)
	事業期間	平成21年度～平成24年度			

**概評**

エネルギーの面的利用は実施せず、建物ごとに自然換気や自然採光等のパッシブ技術、高効率熱源や高効率照明等のアクティブ技術を導入するとともに、TMO(タウンマネジメントオーガニゼーション)と称するしくみにより、まち全体を対象とした省CO2のマネジメントを展開している点が評価できる。TMOはエネルギーだけでなく、水と緑の公共空間マネジメント、交通マネジメント、エコ発信マネジメントを実施し、民と官と大学等が連携して省CO2の取り組みを発信しようとするしくみである点も他エリアへの波及につながり評価できる。

参考図

